



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社 デサント

コード番号 8114 URL <http://www.descente.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中西 悦朗

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役スタッフ部門長 (氏名) 石本 雅敏

TEL 06-6774-0362

四半期報告書提出予定日 平成25年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	64,915	7.1	3,466	△0.4	3,654	3.2	2,387	2.5
24年3月期第3四半期	60,637	8.0	3,480	35.4	3,542	31.5	2,330	26.6

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 2,621百万円 (66.5%) 24年3月期第3四半期 1,574百万円 (19.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	31.69	—
24年3月期第3四半期	30.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	72,900		45,917		63.0	
24年3月期	68,969		43,901		63.7	

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 45,917百万円 24年3月期 43,901百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	8.4	5,300	10.9	5,300	7.8	3,500	14.9	46.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	76,924,176 株	24年3月期	76,924,176 株
25年3月期3Q	1,573,204 株	24年3月期	1,569,158 株
25年3月期3Q	75,352,828 株	24年3月期3Q	75,358,163 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 販売実績	10
(2) 海外売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、長引く欧州の金融不安や中国をはじめとする新興国経済の減速などにより先行きが懸念されております。わが国経済も、東日本大震災からの復興需要を背景とした緩やかな回復がみられたものの、円高による輸出環境の低迷、中国のカントリーリスクの表面化など、企業を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

当スポーツ業界におきましては、「第30回オリンピック競技大会(2012/ロンドン)」の開催や「FIFA U-20女子ワールドカップジャパン」の開催、さらには2020年オリンピックの東京招致活動などスポーツへの注目が高まりました。

このような状況の中、当社グループは当期を最終年度とする中期3ヵ年計画「Compass 2010」の達成に向けて各種政策を推し進めてまいりました。

商品政策では、シューズ事業の強化を目的に英国のイノヴェイト社と独占ディストリビューション契約を締結し、「イノヴェイト×デサント」ブランドで2013年春夏シーズンより、日本・韓国・香港・マカオで販売いたします。コンプレッションウェア事業におきましては「スキンズ」のアジア6地域(日本・中国・韓国・台湾・香港・マカオ)における商標権を取得し、順次販売を開始し事業の強化につとめてまいります。また、戦略素材である太陽光遮蔽素材「サンスクリーン」や蓄熱保温素材「ヒートナビ」を使用した商品を国内外各ブランドで展開してまいります。

販売活動では、国内におきましては、4月に「ルコックスポルティフ(ゴルフ)」で「ルコックゴルフ広尾店」、6月に「アリーナ」で「アリーナショップノース天神店」をリニューアルオープンし、11月に「マーモット」で「マーモットキャナルシティ博多店」をオープンいたしました。海外におきましては、4月にシンガポールで「ルコックスポルティフ(ゴルフ)」の直営店展開を開始し、7月には韓国ソウル市内に「デサント」の直営2号店を出店するなど各国において引き続き店舗展開を進めております。

広告宣伝・販売促進活動では、国内におきましては、ランニング分野の事業拡大を目的に2013年1月に開催される「第32回大阪国際女子マラソン」「2013大阪ハーフマラソン」にオフィシャルスポンサーとして参加することをはじめ、「第2回白馬国際トレイルラン」、「第55回デサント藤原湖マラソン」、「全国スイーツマラソン」への協賛等、積極的なプロモーション活動によりブランド価値の向上を図ります。「アリーナ」では当社が契約を締結している北島康介選手・入江陵介選手・立石諒選手がロンドンオリンピックの競泳種目でメダルを獲得いたしました。ゴルフでは宮里美香プロ・全美貞プロ・谷口徹プロ(以上マンシングウェア)、武藤俊憲プロ(ルコックスポルティフ)、佐伯三貴プロ(クレージュスポーツフューチャー)など当社契約のプロが各大会で優勝し、9月には恒例の「第43回マンシングウェアレディース東海クラシック」を開催するなど企業およびブランドイメージ向上に努めました。海外におきましては、イベント・大会への協賛等を通じて各国でのブランド価値向上に努めております。

社会貢献活動では、「特定非営利活動法人東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会」のオフィシャルパートナーとして協賛し、招致活動をサポートしております。また、群馬県みなかみ町との官民コラボレーション「みなかみデサントスポーツタウンプロジェクト」の一環として、8月に「2012デサント・キッズスポーツ教室(サマー)」を開催いたしました。9月から10月にかけては、デサントヘルスマネジメント研究所で培ったノウハウを活用し、宮城県石巻市、名取市にて健康増強支援プログラム「東北元気アップ教室2012」を開催するなど、引き続き被災地の方々の心と体の健康維持向上のための支援活動を続けてまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は64,915百万円(前年同四半期比7.1%増)となり、営業利益は3,466百万円(前年同四半期比0.4%減)、経常利益は3,654百万円(前年同四半期比3.2%増)、四半期純利益は2,387百万円(前年同四半期比2.5%増)となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

アスレチック事業は堅調に推移いたしました。ゴルフ事業およびアウトドア事業は減収となりました。結果、売上高は42,491百万円(前年同四半期比0.1%増)、セグメント利益は1,479百万円(前年同四半期比27.6%減)となりました。

(アジア)

アスレチック事業およびアウトドア事業は好調に推移いたしました。ゴルフ事業は減収となりました。結果、売上高は21,688百万円(前年同四半期比25.2%増)、セグメント利益は1,895百万円(前年同四半期比51.4%増)となりました。

(北米)

北米ではスキーウェアを中心としたアウトドア事業を行っております。売上高は735百万円(前年同四半期比14.3%減)、セグメント利益は61百万円(前年同四半期比59.3%減)となりました。

取扱商品の品目別売上高の状況は次のとおりであります。

(アスレチックウェア及びその関連商品)

国内市場におきましては、レディースのランニングウェアおよびシューズの企画強化により「ルコックスポルティフ」が、チーム商品に加えてライフスタイル商品提案が市場ニーズを捉えた「アンブロ」が順調に推移いたしました。「アリーナ」はロンドンオリンピック効果により競技用水着の販売が伸びましたが、全体としてはほぼ横ばいとなりました。「デサント」はジャージの販売不振により減収となりました。アジア市場におきましては、韓国でランニングシューズ等の現地企画が好評を博し「デサント」および「ルコックスポルティフ」が好調に推移いたしました。結果、売上高は37,942百万円（前年同四半期比13.5%増）となりました。

(ゴルフウェア及びその関連商品)

国内市場におきましては、「マンシングウェア」が主流である百貨店の相次ぐ閉店の影響もあり、減収となりました。アジア市場におきましては、「ルコックスポルティフ」は韓国での月別企画などが受け入れられ順調に推移いたしましたが、「マンシングウェア」は店舗撤退などにより苦戦いたしました。結果、ブランド撤退の影響もあり、売上高は21,480百万円（前年同四半期比2.0%減）となりました。

(アウトドアウェア及びその関連商品)

国内市場におきましては、アウトドアブームを背景に「マーモット」が好調に推移いたしました。海外市場におきましては、「デサント」が韓国で展開店舗増により好調に推移いたしましたが、欧米では受注減により減収となりました。結果、売上高は5,491百万円（前年同四半期比3.9%増）となりました。

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況に関する分析)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は72,900百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,931百万円増加いたしました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ2,941百万円増加し、54,477百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少3,099百万円、その他に受取手形及び売掛金の増加1,400百万円、商品及び製品の増加3,905百万円によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ990百万円増加し、18,422百万円となりました。これは有形固定資産の増加670百万円、無形固定資産の増加580百万円によるものです。

負債合計は前連結会計年度末に比べ1,914百万円増加し、26,982百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加2,314百万円、未払法人税等の減少513百万円によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ2,016百万円増加し、45,917百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加1,785百万円によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.7%減の63.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く環境はさらに厳しい状況で推移するものと見込まれます。

このような状況のなかで、当社グループは引き続き企業体質の強化による収益力向上と企業価値の向上に努めてまいりたいと存じます。

連結業績予想につきましては、概ね当初予想の範囲内で推移しており、現時点においては、平成24年5月10日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社について、税金費用は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当該連結子会社の法人税等は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

従来の方によった場合と比較して、この変更が当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はそれぞれ軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,442	15,342
受取手形及び売掛金	17,291	18,692
商品及び製品	13,345	17,250
仕掛品	74	117
原材料及び貯蔵品	453	562
その他	1,979	2,559
貸倒引当金	△49	△46
流動資産合計	51,536	54,477
固定資産		
有形固定資産	10,291	10,962
無形固定資産	578	1,159
投資その他の資産		
その他	6,724	6,451
貸倒引当金	△161	△150
投資その他の資産合計	6,562	6,301
固定資産合計	17,432	18,422
資産合計	68,969	72,900
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,862	17,176
短期借入金	—	210
未払法人税等	1,153	640
賞与引当金	775	427
返品調整引当金	373	713
その他	3,824	3,645
流動負債合計	20,989	22,814
固定負債		
長期借入金	1,500	1,500
退職給付引当金	996	1,095
その他	1,581	1,573
固定負債合計	4,078	4,168
負債合計	25,067	26,982

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,846	3,846
資本剰余金	25,184	25,184
利益剰余金	17,617	19,402
自己株式	△659	△661
株主資本合計	45,988	47,771
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△171	△84
繰延ヘッジ損益	△15	△86
為替換算調整勘定	△1,900	△1,683
その他の包括利益累計額合計	△2,087	△1,853
純資産合計	43,901	45,917
負債純資産合計	68,969	72,900

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	60,637	64,915
売上原価	31,293	32,494
売上総利益	29,344	32,420
返品調整引当金繰入額	362	363
差引売上総利益	28,982	32,057
販売費及び一般管理費	25,501	28,591
営業利益	3,480	3,466
営業外収益		
受取利息	44	56
受取配当金	35	70
その他	140	147
営業外収益合計	220	273
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	96	45
その他	59	38
営業外費用合計	157	85
経常利益	3,542	3,654
特別利益		
固定資産売却益	—	90
投資有価証券売却益	—	27
特別利益合計	—	117
特別損失		
投資有価証券評価損	—	232
特別損失合計	—	232
税金等調整前四半期純利益	3,542	3,540
法人税、住民税及び事業税	1,383	1,282
法人税等調整額	△170	△130
法人税等合計	1,212	1,152
少数株主損益調整前四半期純利益	2,330	2,387
四半期純利益	2,330	2,387

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,330	2,387
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△234	86
繰延ヘッジ損益	△17	△70
為替換算調整勘定	△498	217
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	0
その他の包括利益合計	△755	233
四半期包括利益	1,574	2,621
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,574	2,621

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,455	17,323	858	60,637	—	60,637
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,582	30	—	1,612	△1,612	—
計	44,038	17,354	858	62,250	△1,612	60,637
セグメント利益	2,043	1,252	150	3,445	34	3,480

(注) 1 セグメント利益の調整額34百万円には、セグメント間取引消去△2百万円、棚卸資産の調整額36百万円を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,491	21,688	735	64,915	—	64,915
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,613	103	—	1,717	△1,717	—
計	44,104	21,791	735	66,632	△1,717	64,915
セグメント利益	1,479	1,895	61	3,436	29	3,466

(注) 1 セグメント利益の調整額29百万円には、セグメント間取引消去3百万円、棚卸資産の調整額25百万円を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績

(単位：百万円、%)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
アスレチックウェア 及びその関連商品	33,423	55.1	37,942	58.4	4,518	13.5
ゴルフウェア 及びその関連商品	21,926	36.2	21,480	33.1	△445	△2.0
アウトドアウェア 及びその関連商品	5,287	8.7	5,491	8.5	203	3.9
計	60,637	100.0	64,915	100.0	4,277	7.1

(2) 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

(単位：百万円、%)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	18,251	858	1,063	20,173
II 連結売上高				60,637
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	30.1	1.4	1.8	33.3

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

①アジア・・・・・・韓国、中国、香港等

②北米・・・・・・米国、カナダ

③その他の地域・・・・スイス、スペイン、ロシア等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

(単位：百万円、%)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	22,712	740	685	24,138
II 連結売上高				64,915
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	35.0	1.1	1.1	37.2

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

①アジア・・・・・・韓国、中国、香港等

②北米・・・・・・米国、カナダ

③その他の地域・・・・ロシア、スイス等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。